

様式1

令和元年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋勤労者総合福祉センター	所在地	羽咋市千里浜町力1番地20
指定管理者	公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター		
管理者住所	石川県羽咋市千里浜町力1番地20	選定方法	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日		
指定管理料	2,977千円(令和元年度決算額)		
評価担当課	商工観光課		
年度重点目標	利用人数の5%増加		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	現地	・タイムカード、就業報告書(夜間、休日分)で確認
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	現地	・防火管理者講習(6月)、増税前経理研修(9月)。※防火管理者は2名が取得済
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	A	書類	・再委託承認申請書の提出を確認
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	現地	・年度協定書と利用状況報告書や聞き取りなどで確認
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	・週2回清掃、年1回ワックスがけ ・除草作業(2回) ・シルバー会員の講習を兼ねて屋外樹木剪定
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	現地	・利用状況報告書で確認
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	現地	・利用状況報告書で確認
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	現地	・備品台帳確認
3 サービス向上への取組状況(アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	現地	・ホームページ、フェイスブックを利用 施設空き状況を新たに追加
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	現地	・実績報告書及び聞き取りで確認
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	A	現地	・意見箱を常設 ・アンケートは11～12月実施予定
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	現地	・苦情等を受けていないか確認

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	現地	・緊急マニュアルや防火管理維持台帳で確認 ・自衛消防訓練実施年2回(9月実施、3月予定) ・職員、会員へ講習(熱中症・ハチ対策・AED)の講習実施(6月)
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A	A	現地	・利用者に対する施設賠償責任保険(日本興亜損保)の加入を契約書にて確認
5 個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A	A	現地	・今年度分・前年度分は事務室(カギ付き)に、それ以前の方は倉庫(カギ付き)に保管
6 経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	現地	・帳簿の区別を確認(システムにて管理)
	収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	現地	・予算執行状況報告書で確認
	定められた料金を適正に収受しているか。(直近3年間平均と比較)	A	S	現地	・聞き取りによる
7 施設利用状況	直近3年間平均と比較し、利用者数・施設稼働率等に著しい差異がないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	現地	・利用状況報告書で確認 ・定期的に利用する団体の増により、使用料増加。 ※今年度、コロナウィルスの影響で3月の利用者が減少した。
8 市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	現地	・毎月10日までに、利用状況報告書が提出されている
9 アンケート調査意見及び対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のアンケートは11月下旬～12月に実施予定。 ・要望事項 <ul style="list-style-type: none"> →トイレに温水洗浄便座設置については、女子トイレが3個室のうち1個室が完了。2個室に増やしてほしい。 →掃除機が古くて、吸引力が弱い。 →鏡(大)を置いてほしい。 				
10 今後、検討・調整が必要な事項	・施設の概要や利用方法などをホームページ等で広く周知することで利用者の新規開拓を図り、さらなる施設利用促進につなげていく必要がある。				
11 今後の管理方針	<ul style="list-style-type: none"> ・職業講習や職業情報の提供及び体力づくり、レクリエーション、趣味・教養など利用者ニーズに合った福祉増進のための事業や施設の提供が適切に行われているか注視していく。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえた施設利用方法の周知徹底を図る。 				
総合評価	中間評価	年間評価		平成30年度	平成29年度
	A	A		A	A